

陸羽東線の利活用促進に関する岩出山地域懇談会（概要）

1 開催日時 令和4年11月17日（木）午後6時30分～午後8時20分

2 開催場所 大崎市岩出山総合支所 3階大会議室

3 出席者

（1）構成団体

No.	団体名	出欠
1	岩出山まちづくり協議会	○
2	まやま自治会	○
3	池月地域づくり委員会	○
4	上野目自治協議会	○
5	西大崎地域自治協議会	○
6	岩出山地域づくり委員会	○
7	玉造商工会	○
8	岩出山観光協会	○
9	岩出山高等学校 PTA	欠
10	岩出山中学校 PTA	○
11	岩出山地域内公共交通運営委員会	○

（2）市側

No	役職	氏名	出欠
1	市長	伊藤 康志	○
2	市民協働推進部長	伊藤 文子	○
3	岩出山総合支所長	安藤 豊	○

4 事務局 市民協働推進部まちづくり推進課長 中鉢豊，同課長補佐 三澤香苗，
同主幹兼係長 千田貴憲，同主事 佐々木弥祐
岩出山総合支所地域振興課長 新堀秀一，同主幹兼係長 菊地宏美

5 会議の概要

（1）開会

- ・事務局が会議を進行。

（2）あいさつ

- ・伊藤市長

(3) 出席者紹介

- ・名簿に基づき事務局より紹介。

(4) 説明

①陸羽東線の利活用促進に向けた検討について

- ・資料1, 参考資料1・2に基づき事務局より説明を行った。

②地方鉄道の現状について

- ・資料2-1, 2-2に基づき事務局より説明を行った。

③今後の進め方について

- ・資料3に基づき事務局より説明を行った。

(5) 意見交換

・岩出山まちづくり協議会

我々も車で移動していることも乗車人数減少の原因かと思う。陸羽東線は石巻から酒田までをつなぐ東北の大動脈。陸羽東線を残すためにはどうしたらいいか、今後考えていきたい。

・岩出山地域内公共交通運営委員会

運営委員会として、陸羽東線を使う場合の特典を考えたことがあるが、駅舎がバリアフリーではなく、高齢者は駅の利用が難しい状況にある。

・まやま自治会

真山地区は岩出山地域で唯一陸羽東線の駅がない地域のため、関心を持ちにくいですが、誰かが守るという受け身ではなく、地域の間人が積極的に関わっていくことが重要ではないか。

・岩出山中学校PTA

学校が駅から遠いことや、駐輪場の料金が負担であることなど改善が必要。また、企業が陸羽東線を利用した場合に、補助金や減税などの特典があればいいのではないか。

・池月地域づくり委員会

通勤・通学を車で通っている人は確かに多いが、高齢化も進んでおり、自家用車の有無に関わらず、陸羽東線が無くなると困る人は多いと思う。

・岩出山観光協会

駅までの公共交通の利便性を向上させたり、駅の近くに買い物をする場所があったりすると使いやすいと思う。

・上野目自治協議会

地元として、陸羽東線を使ってくださいと宣伝してもいいが、上野目駅には駐車場が無い。まず周辺整備を考えてはどうか。

- ・玉造商工会

イベントの実施などで単発的に利用者を増やすことは協力できるが、それだけでは対策にならないと思っている。無いものに頼るのではなく、今走っている陸羽東線を何とかしたいと思う。

- ・西大崎地域自治協議会

利活用策は職員アンケートにほとんど挙がっている。その実現に向け、住民の気持ちをどのように盛り上げていくかが重要。JRへ、明日からでも利活用策の実現に向けて動き始めるなどのアピールが大切。

- ・岩出山地域づくり委員会

少子化・人口減少・空き家・高校の存続など、さまざまな地域課題が背景にあり、複合的な対策が必要だと思う。沿線地域が協力し、連携しながら一緒に考えていければと思う。

6 その他

- ・会議の公開範囲については、次回以降も意見交換を除いた部分とした。
- ・事務局より資料及び議事の概要について後日市ウェブサイトにて公開することの報告があった。

7 閉会